

## 第4学年 図画工作科学習指導案

日 時 平成15年11月12日(水) 5校時  
 学 級 4年1組  
 児童数 男子18名 女子14名 計32名  
 指導者 山下 祐子

- 1 題材名 こんなプリントシール見たことない!
- 2 題材について

本題材は、学習指導要領の内容「A表現(2)「絵や立体、つくりたいものをつくる」」にあたる。プリントシール機は町中でよく見かけられ、写すだけでなく、フレームがめずらしいものや自分で画面を自由に操作できるものに人気が集まっている。この、プリントシールのフレームを“自分らしさ”いっぱいデザインで自作し、また、お互いに撮り合ったり見合ったりしながら“友達らしさ”や“友達のよさ”を見つけていく楽しい題材である。

この時期の児童は、絵や立体、工作などに表現することや、材料などを使って楽しく造形活動することに一層関心を持つようになる。そして、一人一人の興味や関心などが広がるようになり、個性的な発想や表現を楽しむ傾向も広がる。本学級の児童は図工が好きで、楽しみにしている。作品をよりよいものにしていこうとする意欲も高い。しかし、どんなものを描こうか、つくろうかと考えるのが苦手な参考作品や友達の作品の模倣に終始してしまう児童もいる。発想・構想の段階で“自分らしさ”について考えたり話し合ったりする時間を設定し、どの児童にも自信を持って“自分らしさ”にこだわらせ、楽しんで作品に向かわせたい。

指導にあたっては、題材との出会いを大切にしたい。参考作品により実際にプリントすることで製作意欲が喚起されると考える。また“自分らしいフレーム”についてイメージを深め、表現方法や材料についても工夫させたい。自分らしさがなかなか探せない児童のためにも、この発想・構想の段階をていねいに扱いたい。作品が完成したあとの撮影会では、お互いの“○○ちゃんらしさ”や“よさ”をたくさん見つけさせ、発表し合う場を設定することで、児童が作品や自分に対する愛着をより深め、成就感を持てるようにしたい。

- 3 題材の目標

関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
“自分らしさ”について積極的に考え、絵や立体に表すことを楽しもうとする。	自分らしさのイメージにあった形や色、表現方法や材料を考え発想を広げる。	材料の特性を生かし、表し方を工夫し自分らしい表し方を見つける。	自分たちの作品のよさや感じの違いに気づく。

#### 4 題材の指導計画と評価規準

時間	学 習 活 動	評 価 規 準			
		関心・意欲・態度	発想・構想	創造的技能	鑑賞の能力
1 本 時	“自分らしさ”についてイメージをもちフレームの図案を考える。		【自分らしいフレームのイメージ】をもつことができる。		
2	自分のイメージに合う材料を選び、フレームを作る。①		イメージに合った表現方法、色や形、材料を構想できる。	材料の特性を生かした自分らしい表し方を見つける。	
3	フレームの枠を作る。			材料・用具を安全、適切に使う。	
4 ～ 6	フレームを作る。②	自分の思いを絵や立体に表すことを楽しんでいる。	自分のイメージに合ったもの、楽しいものにしようと新たな発想を加えるなどして、思いをふくらませる。	いろいろな材料の特性を生かしそれまでに体験した表現方法を組み合わせたりしながら、表し方を工夫する。	
7	プリントシール撮影会を行い、よい点や工夫した点を発表し合う。	友達の発言や説明を聞いたり、自分の作品の説明を意欲的に発表したりしようとする。			友達の作品に関心を持ち、よさに気づく。いろいろな表し方の違いによる感じの違いに気づく。

#### 5 本時の指導

##### (1) 目標

“自分らしさ”についてイメージをふくらませながら考え、どんなフレームを作るか構想を練ることができる。

##### (2) 本時の評価の観点と判断基準

観 点	A 十分満足ができる	B おおむね満足ができる	C 努力を要する児童への手だて
発 想 や 構 想 の 能 力	イメージに合った個性的な表現方法、色や形、材料を構想できる。	“自分らしいフレームのイメージ”をもつことができる。 イメージに合った表現方法、色や形、材料を構想できる。	イメージしたものを表現しようとする意識が乏しい。 →イメージしたものの中で児童が絵に表しやすいものを取り上げ、スケッチしてみるよう促す。

## (3) 展開

## ☆ 評価規準

## ◇ 支援

段階	学習活動	評価規準・評価の方法	指導上の留意点
導入 10分	1 プリントシールのフレームを作っていくことを知る。 ・ 教師作例 (1) の提示 ・ 作例作品でプリントシールの印刷 【TV デジカメ プリンタ】 2 学習課題を把握する。	・ 本時から学習する内容がわかる。	・ 児童の目の前でプリントシールを作ってみせ、「やってみたい！」という思いをもたせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自分だけの、自分らしいフレームを考えよう！</div>			
展開 30分	3 自分らしいフレームとはどういうものか全体で話し合い、学習カードに思いついたことを書く。 ・ 好きなもの、こと ・ 夢中になっていること ・ 将来の夢 ・ 趣味 【学習カード】 ・ 教師作例 (2) の提示  4 自分らしいフレームの図案を考える。 【学習カード】	・ “自分らしさ”について考え、思いをもって表現しようとする。 (関・意・態/観察・カード)  ☆ “自分らしいフレームのイメージ”をもつことができる。 ☆ イメージに合った表現方法、色や形、材料を構想できる。 (発想・構想/観察・カード)	・ なかなか思い浮かばない児童には、好きな遊びや将来なりたいものなどを具体的に思い起こさせるような声かけをする。 ・ 学習カードに連想されることをどんどん書き込ませ、その中から選び取らせる。 ・ 立体表現の意識、材料による表現の広がりについて感じとらせる。 ◇ 活動が停滞している児童には、イメージしたものの中で絵に表しやすいものを取り上げ、スケッチしてみるように促す。 ・ アイディアスケッチでは、材料や形、色など具体的に思いついたことをどんどん書き込ませる。
終末 5分	5 本時の学習をふりかえる。 【デジカメ】 6 次時の学習内容を知る。	・ 自分の表したいことを意欲的に発表することができる。 (関・意・態/観察・カード)	・ 表したいことだけでなく、表現方法や材料まで考えている児童のアイディアを紹介する。

# みんなプリントシート見たことない!

好きなもの...

名前

めあて  
自分だけの  
自分らしい  
フレームを  
考えよう!

好きなこと・しみ...

将来のゆめは...?!

とあ、この中できみがフレームにしたいのはどれ?!

## ☆ アイデアスケッチに挑戦だめ

- ☆ どこから顔を出そうかな
- ☆ 何でかこうか、何で作ろうか
- ☆ 自分で選んだものを、どこにどう入れようか

アイデアスケッチに、工夫した点を  
絵や言葉で、どんどんかきこんじゃおう

